

「総合的な学習の時間」におけるキャリア教育の推進
— 第1学年「職業について考えよう」の学習を通して—

日立市立泉丘中学校

1 はじめに

本校では、教育目標「自らを高め、力のある人間となれ—自ら学び、自らを律し、自らを鍛える—」の具現を目指して、7つの重点項目を設定している。その中に、「一人一人の夢をはぐくむ教育の推進（人権教育・キャリア教育）」がある。

夢や目標は、人が生きるための最大のエネルギーである。したがって、キャリア教育は、自分の未来を肯定的に捉えて、よりよい生き方を目指す生徒を育てる教育だと考える。そして「自己の生き方を考える」ことは、総合的な学習の時間が目指すことそのものである。

そこで、よりよい生き方を目指す生徒を育てるために、キャリア教育を機能させた総合的な学習の時間を充実させたいと考えた。

2 単元の概要

(1) 単元名 「職業について考えよう」

(2) 年間指導計画における本単元の位置付け

「自分の地域を見つめよう」 50時間		
「身近な地域と比べよう」 12時間	「職業について考えよう」 20時間	「ワールドキャラバンと交流しよう」18時間

(3) 単元の目標

地域を支える職業（地域のよさを生かした産業、地域に根ざした仕事）について調べ、働くことや地域に生きること（それぞれの職業の社会的役割や意義）について考え、その成果を生活の中で生かそうとする。

(4) 単元の評価規準

評価の観点	課題発見・解決能力	資料収集能力・表現力	自己の生き方
評価規準	将来の夢や職業を思い描き、今の自分に求められていることについて新たな課題をもっている。	地域で働く人の仕事や興味・関心のある職業について収集した情報を、自分なりの解釈を加えてまとめている。	仕事へ取り組む姿勢や責任を学び、自分と社会との関わりを考えている。

(5) 指導と評価の計画

段階	主な学習活動	評価（方法）
発見	○オリエンテーションで学習のねらいを知り、見通しをもつ。 ○自己評価と他者評価を通して、適性を知る。 ○「地域の大人から学ぶ」（職業講演会）	課題発見・解決能力 （ワークシート・感想文）

	・地域の産業に関わる方を招聘して話を聴き、働くことや地域に生きることについて考える。	
追究	○「職業調べ」 ・興味・関心のある職業を1つ選び、文献をじっくり読んで、その職業の特徴をまとめる。 ○「人生の先輩に学ぶ」 ・興味・関心のある職業人にインタビューして、働くことの意義や、仕事をするために必要とされることなどの情報を得る。 ・得た情報をもとに、職業人を紹介する記事を書く。 ○2年生の「職場体験発表」を聴いて、来年度の職場体験に対する関心を高める。	資料収集能力・表現力 (ワークシート) 資料収集能力・表現力 (行動観察・紹介記事)
表現	○茨城新聞社による「出前授業(新聞の作り方講座)」 ・新聞記者から、新聞紙面の構成や記事の書き方、見出しの付け方、レイアウト、「聞き書き」のポイントなどを学ぶ。 ○講話、文献調査、インタビューで得た情報を選択し、学んだことを新聞にまとめる。	資料収集能力・表現力 (新聞)
深化	○これまでの学習を振り返り、「仕事とは?働くとは?」をテーマにコラムを書き、新聞に加える。	自己の生き方 (新聞)

3 実践の内容(資料)

(1)「地域の大人から学ぶ」(職業講演会)

ゲストティーチャーに「仕事を選んだ動機」「仕事のやりがいや苦労」「自己の生き方」「中学生へのメッセージ」などを語っていただいた。

日立市で事業所を営む土地家屋調査士の方からは、社会にはさまざまな仕事があり、地域貢献していることに気付かせたいと考えた。

東日本大震災の被害から復旧し、日立市のよさを伝える「うのしまヴィラ」オーナーの方からは、地域に根ざし、地域のよさを伝える仕事を知ることを通して、生徒がまだ気付いていない「働くことのすばらしさ」を発見させたいと考えた。

日立市出身で、現在は東京で活躍されているイラストレーターのミウラナオコ氏からは、氏の地元への思いを受け止めるとともに、「働くということ」の捉えに変化をもたせたいと考えた。

【生徒の感想(抜粋)】

- ・土地家屋調査士という仕事を初めて知ったので、こういう仕事もあるのだと興味を持った。将来職業を決めるとき、人の役に立ったり、人を助けたりする仕事を選びたいと思った。
- ・いろいろな職業があるから、今の私の生活が成り立っているのだと思った。私の夢は薬剤師になることだが、その夢に向かって努力することを改めて考えることができ

た。たくさん努力して、自分の職業に自負心をもてるようになりたい。

- ・ 茨城のいいところや、「迷ったらチャレンジ！」することなど、さまざまな体験のお話にわくわくした。私もチャレンジします！
- ・ 今回の講演会でまだたくさん知らない職業があるとわかったので、職業について調べるのが楽しみになった。
- ・ 好きなことを見つけるためには「自分を観察する」ということを聞いたとき、私はあまり自分のことを好きではないと思ったので、これから自分のことをたくさん知って好きになっていきたい。
- ・ 自分を他人と比べて自分はダメだと思っていて、今の自分が好きではないので、自分の「好き」を大事にすれば、他人の「好き」も大事にできると聞いて、自分を見直したいと思った。
- ・ 自分を好きでいることはとても大切と聞いたとき、自分は勉強とか、スポーツ、何にもできないけれど、何か自分にもできるものがあるのだ、自分を好きでいないと他の人のことも好きになれないのだと思った。私はこれから変われそうだ。

(2) 「人生の先輩に学ぶ」(インタビュー活動、聞き書き)

インタビューをしたい職種のアンケートをとり、下記の方々に来ていただいた。インタビュー後は、得た情報を整理して、その職業人を紹介する「聞き書き」を行い、仕事に対する考え方や、今までの生き方などに対する理解を深められるようにした。

ゲストティーチャー	活動場所	生徒数(名)
つくしんぼ保育園保育士	多目的室	15
日立警察署警務課職員		16
コンビニ店経営者		14
音楽家		3
神峰動物園飼育員		13
ダンスインストラクター	図書閲覧室	18
諏訪かおる幼稚園園長	1年1組教室	15
泉丘中学校教頭		13
薬剤師	1年2組教室	13
ひたちなか総合病院看護師		11
フラワーアレンジスタイリングディレクター	1年3組教室	3
泉丘中学校事務職員		8
運平堂社長	1年4組教室	7
アウェイクリアン美容室美容師		13
(株)モリハウジング設計士	1年5組教室	26
(株)モリハウジング代表取締役	1年6組教室	8
ピアノ講師		2
近畿日本ツーリスト添乗員		9

【聞き書き（紹介記事）】

◎ゲストティーチャーを紹介する記事を書こう。

紹介記事

松崎 友幸 さん

美容師

お客様に喜んでもらいたい

美容師としての使命

美容師とは、人の心を癒す仕事です。お客様に喜んでいただくことが、私たちの最大の使命です。毎朝、笑顔で迎えるお客様に、最高のサービスを提供するために、日々研鑽を続けています。

美容師としての経験

美容師としての経験は、お客様のニーズに応えることです。お客様の悩みや要望を聞き取り、最適な提案をすることが、私たちの仕事です。お客様の笑顔が、私たちの最大の喜びです。

美容師としての目標

美容師としての目標は、お客様の満足です。お客様のニーズに応えることが、私たちの最大の目標です。お客様の笑顔が、私たちの最大の喜びです。

◎ゲストティーチャーを紹介する記事を書こう。

紹介記事

鈴木 勝俊 さん

薬剤師

命を救う薬剤師

薬剤師としての使命

薬剤師とは、人の命を救う仕事です。お客様の健康を守るために、日々研鑽を続けています。お客様の健康が、私たちの最大の喜びです。

薬剤師としての経験

薬剤師としての経験は、お客様の健康を守ることです。お客様の健康を守るために、最適な提案をすることが、私たちの仕事です。お客様の健康が、私たちの最大の喜びです。

薬剤師としての目標

薬剤師としての目標は、お客様の健康です。お客様の健康を守ることが、私たちの最大の目標です。お客様の健康が、私たちの最大の喜びです。

(3) 学んだことを新聞にまとめる活動

茨城新聞社の「出前授業（新聞の作り方講座）」を生かして、これまでの学習を一人1枚、新聞形式でまとめた。

【新聞】

やりがい・目標を持って

「好き」を育てる

お仕事新聞

発行部数 1冊 5部 25部

発行 平成28年1月

仕事とは？

仕事とは、人の役に立つこと。仕事は、人の生活を豊かにするために必要不可欠なものです。仕事を通じて、人は成長し、社会に貢献することができます。

仕事とは？

仕事とは、人の役に立つこと。仕事は、人の生活を豊かにするために必要不可欠なものです。仕事を通じて、人は成長し、社会に貢献することができます。

周りの影響はとて大きいもの

迷ったらチャレンジ

職業新聞

発行部数 1冊 5部 25部

発行 平成28年1月

目標掲げ 苦手克服

仕事とは？

仕事とは、人の役に立つこと。仕事は、人の生活を豊かにするために必要不可欠なものです。仕事を通じて、人は成長し、社会に貢献することができます。

仕事とは？

仕事とは、人の役に立つこと。仕事は、人の生活を豊かにするために必要不可欠なものです。仕事を通じて、人は成長し、社会に貢献することができます。

4 成果と課題

(1) 成果

7月と12月に行ったアンケート結果からは、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた生徒が89.2%→91.2%と増えている。この結果と、ワークシートやまとめ新聞の記述に見られる意識の変容から、キャリア教育の視点から構成した総合的な学習の時間が「自己有用感」を育む一つの手立てになったと考える。

(2) 課題

一方、「自分にはよいところがあると思う」というアンケート項目については、73.9%→65.7%と減少している。「自己肯定感」を育むために、総合的な学習の時間で得た気づきや、深めた考えを生活の中で生かそうとしている姿を認め、賞賛するといった肯定的な関心・評価を広げていきたい。